

ぽけっと21 ミニミニ講座

みんなで学ぼう

身近な病気とケガの手当て

～子どもの熱性けいれんについて～



熱性けいれんとは

6歳未満の乳幼児期に約2～5%起こる

38度以上の急な発熱に伴って起こるけいれん発作

6歳以上の発熱がある小児のけいれん発作は、熱性けいれんとはみなさない
もっとも発症しやすい時期は生後6カ月～3歳

主な症状

熱の上がり際に身体の一部、又は全身をピクピクさせたり
意識がなくなり白眼になったりする

けいれんには単純型と複雑型がある

単純型 ……全身の震えが15分未満でおさまるもの

複雑型 ……全身の震えが15分以上続くもの

(連続する、又は休みをはさみながら続く)

身体の片側だけが震えるもの

24時間以内に発作が2回以上おこるもの



けいれんを起こした時の対処法

- 衣服を緩め、ケガをしないよう注意する
- 平な場所で横向きに寝かせる（嘔吐による窒息を防ぐ）
- 落ち着いて、しばらく様子を見る（携帯で動画を撮るのも良い）
- 時間をはかる

見守る時の注意点

慌てて抱き上げたり、ゆすったりしない
口の中に物や手を入れない



けいれんと震えの見分け方

けいれんの場合

意識がない 呼びかけに答えない 目の焦点が合わない
目が上を向いている

震えの場合

意識がある 呼びかけに反応する
目が合っている

再発する傾向（約 1/3 の小児に再度熱性けいれんが起こることがある）

最初の熱性けいれんが1歳未満で起こった場合

両親が熱性けいれんを起こしたことがある場合

発作が 5 分以上続く場合は、救急車を呼んで病院を受診する

けいれんが短時間でおさまっても、普段と様子が異なる場合には、早めに病院を受診する

- ◎ 何回か発作を繰り返しても、小学校に入る前には
自然に治ることが多い
慌てず沈着冷静に対応し、必要時には救急受診する



～子どもの感染症について～

新型コロナウイルスはもちろんのことですが、RS ウイルス感染症も流行しています
2歳までには、ほぼ半数以上の乳幼児が感染するとされています
家庭でも引き続き感染予防対策をしましょう

重要なポイント

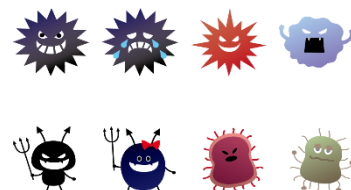
こまめな換気（1時間ごとに5分～10分間窓を開ける）

マスクの着用

こまめな手洗い（石鹸・アルコール消毒）

ドアノブやスイッチの消毒

会話時間と距離に注意



情報提供 休日夜間診療所

栗原鮎美 看護師

